

## 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市乾燥調製施設
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市玉島八島 1 5 1 0 - 1 名称 岡山西農業協同組合 代表者 代表理事組合長 石我 均
(3) 公の施設の所管部署	船穂支所（農林水産課）
(4) 評価対象期間	平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「(1) 配慮した施設の運営で、防災・救急体制についての状況 (2) 営繕に関する方針で、定期点検の実施について重点的に評価を行った。</p> <p>(1) 防災・救急体制については、ものを高い場所に置かない、足元を整理整頓するなど事故等の防止や、何かあったときの被害を最小限にしている。救急体制についても役割分担や連絡体制が構築されている。</p> <p>(2) 定期点検の実施については、操業時期前には業者による定期診断を実施しており、稼働期間中は作業員によるメンテナンス等を実施している。</p> <p>全体として、適正に施設の維持管理が出来ている。トラブル等が起きて、利用者に迷惑がかからないように日頃から注意して対応していること、など評価できる。また、利用者の要望等を把握し期待に答えるようにしており、利用者本位の立場に立って施設運営をしている。</p> <p>これまでも地域農業の振興に大きく貢献していると思われるが、今後益々の地域農業の発展のための尽力に期待する。</p>	総合評価
	A	

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>ライスセンター作業については、利用者のニーズに応え、よりよいサービスを提供できるよう努力している。</p> <p>施設の維持管理については、定期的に建物及び機械類をメンテナンスし、適宜修繕をしている。</p> <p>労働環境については、職員が長時間労働にならないよう勤怠管理し適切に運営している。また、作業マニュアルに則り、事故等には十分気をつけて作業している。</p> <p>作業員全体が高齢化しており、作業人員の安定的な確保が喫緊の課題となっている。</p> <p>利用者の多くは継続的に利用している生産者であり、高齢化により作付け面積を減らした、離農したという方が年々増加しているように思える。</p> <p>今年度は1名の新規利用があったが、次年度以降もロコミや職員による声掛けで新規利用者の増加を図りたい。</p> <p>長年ライスセンターが稼動しており、地域農家から一定の評価を得ており、次年度も利用したいと申し出多数であった。</p>
<p>(3) アンケート結果の概要</p>	<p>アンケート集計における利用者満足度も目標を達成できている。引き続き利用者の意見・要望等を参考に業務を適切に行っていただきたい。</p> <p>利用者は、50代、60代、70代の男性が中心であるが、女性の利用者も若干名おられ、利用者は、従来から利用している人が主である。</p> <p>以前は、自家用車で持込をする方が多かったが、現在は、ライスセンターの収集を利用する方も多くなっており、利用者の高齢化が進んでおり、将来的にはライスセンターに収集依頼のニーズが増えると予想される。</p> <p>管理運営については、多くの利用者から、満足・ほぼ満足と回答を得ており、利用者アンケートにおける全体の満足度は90%以上となっている。しかし、施設の清潔度ではやや不満の回答もあった。</p> <p>開館期間、営業時間及び利用料金についても、多くの利用者から、適当であると回答を得ているが、営業時間を夜間に延長してほしいという回答も数件あった。</p> <p>全体的に利用者アンケート調査からは、利用者の満足度は高く高評価を得ている。</p>

## 3 施設の利用状況

(1) 利用実績	施設の利用実績 平成 27 年度 188 件 平成 28 年度 178 件 平成 29 年度 199 件 平成 30 年度 161 件 令和 元年度 162 件
(2) 事業の内容	・乾燥調製施設の運営により、水稻栽培農家・高齢農業者・認定農業者の労力削減を図る。

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 6,200 千円 市からの指定管理料 (委託料) 0 千円 利用料金 6,200 千円 その他の収入 0 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 4,726 千円 主な支出 人件費 1,611 千円 光熱水費 839 千円 修繕料 1,580 千円 消耗品費 279 千円 施設管理委託費 119 千円 その他経費 298 千円